

堀 新次 (ほり しんじ) —————

小寺 稔

(財)大阪市都市整備協会理事長

明治37年(1904)新潟県長岡市に生まる。大正13年文官普通試験に合格、同15年内務省復興局に奉職、昭和2年高等試験に合格、昭和5年退官するまで東京大震災復興土地区画整理事業に従事する。その後阪阪し、大阪市神路区画整理組合事務長としてその手腕を発揮、わずか数年で事業を完成させるという目覚ましい成果をあげた。

そして昭和10年4月、大阪市に奉職するや大阪駅前第一次土地区画整理事業に従事することとなり、これが氏が大阪市の土地区画整理を手がける第一歩となった。

戦後は、焦土と化した大阪の街を一日も早く復興させるべく、当時都市計画の第一人者であった高津俊久氏のもとに、復興局調査課長、建築局換地課長、計画部移転補償課長、審査課長、計画局整地部長を歴任、戦災復興基本方針にもとづき、市内18地区・48工区・1千万坪にわたる区画整理事業に全精力を傾注し、文字どおり東奔西走、数多くの難問題を解決したのである。

氏は、はじめに紹介したとおり新潟県出身であったせいか、東北なまりのうえに早口で声がくぐもることもあって、聞く方としては大変聞きづらかった。整地部長時代、市会答弁に立ったときもこの調子で難解な区画整

理の理論説明をするのであるから、質問した議員先生を閉口させたという逸話が残っている。

昭和38大阪市定年退職後も、財団法人大阪市土地区画整理協会(現大阪市都市整備協会)専務理事、後に技術顧問として長年わたって大阪市の区画整理事業を支援するとともに、その学

識経験をもって大阪府都市計画地方審議会委員をはじめ、府下、吹田・東大阪・和泉・泉大津・門真・箕面・枚方・堺の各市の都市計画審議会委員、あるいは土地区画整理審議会委員として活躍したのである。この間、建設大臣表彰・感謝状授与3回、昭和49年勲4等瑞宝章受章等の栄誉をうけた。

惜しむらくは昭和58年3月他界したが、氏の半世紀以上にわたり、区画整理一筋に燃やされた情熱と、大阪市とその周辺の町づくりに尽くしたその功績はまことに大きいものがあり、わが国の都市づくりの歴史に深く刻まれることであろう。

